

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	漁港施設機能強化事業			
予算科目	6款 3項 3目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 水産業の振興			
所管課情報	担当課: 農林水産課		電話番号(内線): 583	
記入者情報	所属長: 亀岡 泰三		担当責任者: 角田 栄治	
実施期間	【開始年度】平成 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市漁港施設			
事業の必要性				
施工方法、場所	【施工方法】		【施工場所】	
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	将来起こると想定される地震に対して、漁港施設の強化を図る。 また、漁港施設の機能保全計画を立て、長寿命化を図る。			
事業の内容	漁港施設の耐震診断及び補強工事を実施する。 機能保全計画に従い、修繕を実施していく。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	49,930	10,000	1,920	9,804
	人件費	795	2,252	1,126	2,252
	合計	0	12,252	3,046	12,056
人件費 内訳	人工数	0.10	0.28	0.14	0.28
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	795	2,251	1,125	2,251
財源内訳	国庫支出金	24,265	5,000	0	4,902
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	19,412	4,000	0	3,921
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,048	3,252	3,046	3,233

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
機能強化・保全計画	66,803	10,000		7,000		7,000	
年度別事業費	66,803	10,000		7,000		7,000	
財 源	国・県支出金	27,848	5,000		3,500	3,500	
	地方債	31,233	4,000		2,800	2,800	
	その他						
	一般財源	7,722	1,000		700	700	
国・県支出金等名称							

成果指標				
成果指標	実施事業額÷割当予算額			
指標設定の考え方	割当予算額のうち実施事業額の割合を成果指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	耐震診断では安定しない施設が目立ったが、補強工事を実施するには、膨大な費用と時間が必要なことから、市の財政と協議しながら、長期計画を立てる必要がある。また、保全計画により、漁港施設の改修も併せて実施することになる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	双海地区漁港の機能強化・機能保全の必要性が明確化されたが、財政状況に鑑み長期計画に基づく実施について検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題